

がくいんふくいん か ねん がつ
学院福音化2022年9月

じょろん じょろん
序論（レムナントディの序論から）

かみさま えら
神様→選び（エペソ 1:4）

わたし かみさま えら かみ たみ
私たち、神様から選ばれた神の民です。いつ選ばれたのでしょうか。それは、創造の前からです。

エペソ 1:4 を見ると

かみ わたし せかい もとい お まえ かれ
神は私たちを世界の基の置かれる前から彼（キリスト）にあって選び、御前で聖く、傷
のない者にしようとされました。

い せかい もとい お まえ そうぞう まえ よ つく まえ かみさま
と言われています。世界の基の置かれる前（創造の前、この世を造られる前）に、神様
は私たちを「神の子ども、神の民」として選んでくださっていたのです。



そのように選ばれた私たちのことを、神様はすべてを知っておられ、この時代に、このところに置いてくださったのです。

わたしたちひとりひとりの家庭、家系、背景、生活、資質、長所短所など、すべてを知っておられ、私たちを、いまのところに置いてくださいました。私たちの家庭、通っている学校、通っている教会、住んでいる地域、国など、すべて神様がご存じで、神様がすべてを備えて私たちを召してくださいました。

かみ さくひん
神の作品（エペソ 2:10）

そのことを、エペソ 2:10 では「神様の作品」だと言われています。

エペソ 2:10

わたしたち かみ さくひん
私たちちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造
られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあら
かじめ備えてくださったのです。



ここで「良い行ない」ということばが出て来ます。「良い行ない」というのは、悪いことをしないで、いつも誠実に生きることを言うではありません。聖書が言っている「良い行ない」というのは、「ただ神様の栄光
を現すこと」です。

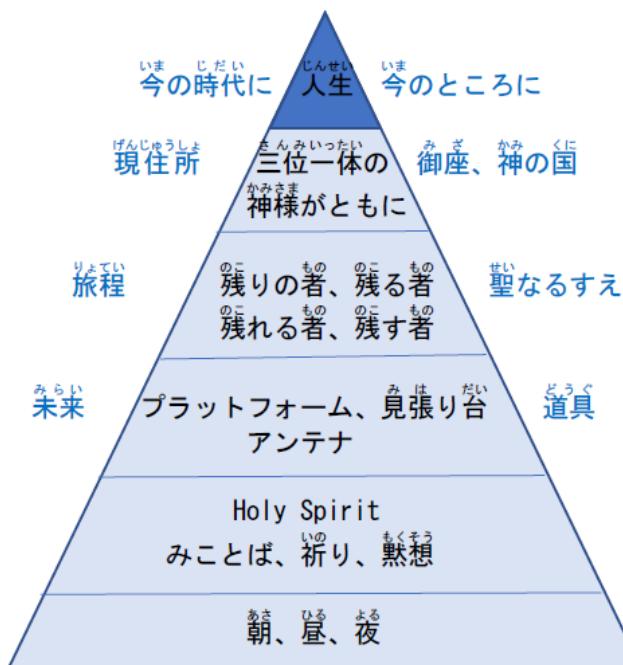
かみさま えいこう
神様の栄光をいちばんよく現すのは、
あらわ

イエスがキリストであること、主であること、救い主であることを私たちの人生を通して告白し、あかしすることです。

その良い行ないのために、私たちは「神の作品」として創造の前から選んでくださったのです。

エペソ1章、2章を見ると、多くの所に「キリストの内に」「キリストにおいて」「キリストにあって」
「キリストの中で」「キリストによって」ということばを見るすることができます。それは、「私たちの人生すべてが、ただイエス様のための人生」であることを語っているのです。

「私たちたちはただイエス・キリストを現す、神の作品」であることを覚えましょう。



「今の時代に」「今のところに」私たちを置いてくださいました。

ただ置かれたのではなく、私たちの現住所は、三位一体の神様がともにおられ、私たちの中に、神の御座、神の国があるのです。

ここから始まります。もともと「ちり(土)」であった私たちの中に主の靈を入れてくださいって、私たちちは「生き物」になりました。私たちは、神様とともにいることができる幸いな祝福を受けた者です。私たちの人生の始まりは、そこから始まります。

神様がともにいてくださり、荒野のようなこの時代、世界に、私たちを通して契約の旅程を歩むようにしてくださいました。それが「残りの者、残る者、残れる者、残す者」です。

(今回のリーダー修練会のメッセージです)

ここで重要なことは、イザヤ6:13の最後に書いてある「聖なるすえこそ、切り株」ということばです。私たちが「残りの者」としてこの時代に用いられるのは、私たちの中に聖なる「種=すえ」であるキリストがともにおられるから可能なのです。

そのような契約の旅程を歩むときに、「神の作品」として、未来を生かす「プラットフォーム、見張り台、アンテナ」として、立ててくださいました。すべてが神様の御手の中にある「道具」です。ただイエス・キリスト、神の国を現すための道具です。「プラットフォーム、見張り台、アンテナ」は、そのもの自体がなかなかできるのではありません。それを通して「神様がなさろうとすることがあるので、それぞれの所に「プラットフォーム、見張り台、アンテナ」として立ててくださいましたのです。

私たちがなにかすることによって、神様が私たちの人生を変えて行かれるのではありません。すべてが備えられた内に、道具として用いられ、ただキリストを現す者としてくださったのです。それを忘れないようにしましょう。

私たちがよく勉強をして、成功して、たくさんのお金をもうけて神の国のためににかができるのではなく、ただ神様がともにおられることによって、私たちのそれぞれの人生が用いられるのです。



ここで重要なのが、**Holy Spirit** です。メッセージでは「Holyとは区別されたという意味」だと語されました。なぜ区別されたのでしょうか。私たちの中に聖霊が入って来られて、ともにおられるゆえに、私たちは区別された者となったのです。イエス様が「わたしが行くのが良い。そうであってこそ、約束された聖霊があなたがたに送られる」と言われました。それゆえ、いまの時代を「聖霊の時代」と言います。
聖霊様が私たちの中におられ、私たちを通して神様がなさろうとすることが、聖霊によってできるのです。なにもできない私たちの中に聖霊が臨みました。それによって、なにか成されるようになりました。それなら、それは私自身がしたのではなく、聖霊様がなさったということです。

そこで、朝（一日を準備すること）、昼（一日を過ごすこと）、夜（一日を終えること）、すべてが神様の中で、聖霊の導きの中にあることを信じましょう。

これが、9月学院福音化の1～4課の基準です。

三位一体の神様がともにおられ、私たちを通して契約の旅程をともに歩んでくださり、未来を生かす道具として用いてくださっているということです。私自身がなにかができるのではなく、神様がすべてを備えてくださっていること、それが9月の学院福音化のメッセージの核心の内容です。